

一 般 質 問 通 告 事 項【9月11日(水)】

令和第3回松江市議会定例会

順序	13	議員名	篠原 栄	(個人質問)(一問一答方式)	質問日(予定)	9月11日
質問項目	質問要旨					
1 消費者問題について	(1) エシカル消費は新時代の消費者の在り方として注目をされている。これは子供のころからの教育が重要であることから、小中学校での「エシカル教育」にどのように取り組んでいるのか伺う。 (2) 行政の事業実施や計画策定にSDGsの理念を基盤とした取り組みが必要と思う。どのように考えているか伺う。					
2 介護保険について	(1) 国は ①ケアプランの有料化 ②サービス利用者負担を原則1割から2割へ ③要介護1,2の人の生活援助サービスを基礎的自治体へ移行 ④保険料負担を現行40歳から引き下げるとの考えがあると報道されていたが、それぞれについて見解を伺う。 (2) サービス付き高齢者住宅の現在の状況(数)を伺う。 (3) サービス付き高齢者住宅の点検について結果と対応を伺う。 (4) 寺町でのサービス付き高齢者住宅建設に関し、市のまちづくりとの関連性について伺う。 (5) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護、小規模特別養護老人ホーム、認知症サポーターステップアップ講座について現状と今後の取り組みについて伺う。 (6) 2035年を見据えた計画の策定に取り組むべきではないかと思うが所見を伺う。 (7) 10月からの介護職員処遇改善について、改善内容と市の対応について伺う。 (8) 地域ケア会議の評価について伺う。 (9) 生活支援コーディネーターの配置状況と第2層協議体の設置、及び第2層協議体での協議内容と今後の取り組みについて伺う。 (10) 地域包括支援センターに職員の拡充を再度要請する。					
3 マイナンバー制度について	(1) 制度の目的である「行政の効率化」について、どのような作業が削減され、効果としての費用は如何であったか伺う。 (2) 国民の利便性についても具体的に伺う。 (3) マイナンバーカード普及状況について松江市の最新の状況を伺う。 (4) マイナンバー普及の取り組みと、今後予定されているポイント付与、健康保険証利用について見解を伺う。					

一 般 質 問 通 告 事 項【9月11日（水）】

令和第3回松江市議会定例会

順序	14	議員名	細木 明美	(個人質問) (一括方式)	質問日 (予定)	9月11日
質問項目		質問要旨				
1	松江市立女子高等学校の魅力化について	<p>(1) 魅力化とは何か。</p> <p>ア 女子高の魅力化とはどういうものであり、誰にとっての魅力化なのか。</p> <p>イ なぜ今魅力化が必要なのか。これまでも数々の独自の教育を展開してきたはずだが、それが女子高の魅力化につながらなかったのか。これまでの取り組みについての評価はどうなっているか。</p> <p>(2) 魅力化の基本的な考え方について。求められる人材とは。</p> <p>ア 松江市だからこそその特色を加味して魅力化をさらに高めることはできないか。</p> <p>イ 卒業時には、キャリアデザインコースではお茶もお花もできて着物も着る、着付けもできる女性として送り出す。国際コミュニケーション科では海外から訪れる人と英語でのコミュニケーションに不自由なく、日本の文化でおもてなしができる女性として送り出すようにしてはどうか。これこそ松江市立女子高の強み、特色とならないか。</p>				
2	女性が活躍できる松江市について	<p>(1) 女性が「活躍できるまち」であるために</p> <p>ア 松江市役所における女性管理職の人数と割合を伺う。</p> <p>イ 女性管理職の割合が増えていかない要因は何だと考えるか。何が妨げになっているのか。</p> <p>ウ 優秀な人材を確保するためには流出を抑える必要がある。処遇改善や環境整備など自治体としてできることには限界があると思うが、何か良い手立ては考えられないものか。</p> <p>(2) 女性から「選ばれるまち」であるために</p> <p>ア 「松江に住みたい。松江で働きたい。松江で子育てがしたい。子育てしながら働きたい。」と思う女性が増えて欲しい。そのためには「女性に優しいまち。お母さんに優しいまち。」そう思えるような就労環境の向上と、まちづくりの取り組みが必要であると考え。具体的に何か取り組みの考えはあるのか。</p>				
3	地方創生、地域の魅力化について	<p>(1) 東京大学との連携 このチャンスをどう活かすのか。</p> <p>ア 現在松江市は「松江のまちづくり」に対し東京大学との連携を進めていると聞いている。その経緯と内容について伺う。</p> <p>イ 東京大学は、鹿島町のどういうところに注目し、これからどんなことをしようと考えているのか。</p> <p>ウ このつながり、「関係」を継続させていくことは、地方創生、地域の魅力化を進める上で非常に重要だと思う。このチャンスを活かすべく支援していくべきだと思うが、市としてどのように考え、今後どういった関わり方をしていく考えなのか。</p>				

一 般 質 問 通 告 事 項【9月11日（水）】

令和第3回松江市議会定例会

順序	議員名	宅野 賢治	(個人質問) (一括方式)	質問日 (予定)	9月11日
質問項目	質問要旨				
1 松江市「まち・ひと・しごと創生第2次総合戦略」について	<p>(1) 国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」への対応は</p> <p>国においては、第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を前に、地方自治体が戦略を練るベースとなる基本方針が閣議決定された。松江市の第2次総合戦略では、国の方針である新たな観点として盛り込まれ打ち出されたものをベースに取り入れ、どのような具体的な構想を持ち施策を取り入れて対応していく考えなのか伺う。</p> <p>(2) 松江市の特徴なり地域事情にあった具体的な総合戦略について</p> <p>松江市の特徴を生かした戦略もあわせて必要であるとする。島根県の動きと連携なり整合性を図りながら取り組み推進をされるべきと考えるが、松江市の第2次総合戦略は、松江市の強さと弱さの特徴を熟知して松江の地域事情にあった、どのような新たな事業を構想し具体的な施策を取り組んで行く考えなのか伺う。</p>				
2 介護保険制度見直しと介護職員労働雇用施策について	<p>(1) 国の介護保険制度見直しの給付費抑制の主な論点(3点)に対する市の所見について</p> <p>国においての給付費抑制の介護保険制度見直しの主な論点 (① 利用者がサービスを受けるケアマネジャーが作成した場合のケアプランの有料化 ② 介護利用サービス利用者の自己負担を原則1割から2割に引き上げ ③ 比較的軽度の要介護1・2の人が利用する掃除や洗濯といった生活援助サービスを国から市町村の事業へ移行) に対する松江市としての所見を伺う。</p> <p>(2) 国の介護職員労働雇用施策に対して本市の現況、市独自の介護人材確保対策事業の新たな取り組みについて</p> <p>介護労働雇用対策として、外国人雇用の受け入れ体制整備のほかに、サービスニーズに応じた介護職員の供給促進策について市内の現況はどうであると認識されているのか伺う。併せて、今後、各事業所と情報交換を図りながら、松江市独自としての介護人材確保対策事業(介護職員の供給促進策)の具体的な新たな取り組みについて検討する考えはないのか伺う。</p>				
3 障がい者難病患者の公共施設利用料減免の検討について	<p>(1) 障害者総合支援法の対象拡大による難病患者の公共施設利用料減免の拡大について</p> <p>障がい者への減免を実施している本市施設において、「特定医療費受給者証等」をお持ちである難病患者に対しても、対象拡大を図る検討をすべきではないかと提案するが、見解を伺う。</p>				
4 民法改正による賃貸借契約のルール見直しの対応について	<p>(1) 民法改正による賃貸借契約に関するルール見直しによる市営住宅修繕費の負担軽減の検討について</p> <p>民法改正により、賃貸借契約に関するルールが見直しされ、「敷金の返還義務」や「原状回復の負担割合」が法律で規定され明文化された。松江市は、今次民法改正によりどのような変化があると捉えておられるのか。市営住宅の退去時における入居者の費用負担軽減を求めるとともに、市営住宅の原状回復の負担割合ルール見直しを検討すべきと考えるが、見解を伺う。</p>				

一 般 質 問 通 告 事 項【9月11日（水）】

令和第3回松江市議会定例会

順序	15	議員名	宅野 賢治	(個人質問) (一括方式)	質問日 (予定)	9月11日
質問項目		質問要旨				
5	公用車の安心 安全対策について	(1) 公用車へのドライブレコーダー設置推進について 後続車等のあおり運転防止、職員の安全運転意識及び運転マナー向上並びに交通事故発生時における責任の明確化、事故処理の迅速化のためにも公用車へのドライブレコーダー設置に向けて推進すべきと提案しますが、松江市公用車への設置の現況と今後、設置に向けて推進する考えはないのか見解を伺う。				

順序	16	議員名	田中 明子	(個人質問) (一括方式)	質問日 (予定)	9月11日
質問項目		質問要旨				
1	防災・危機管理 訓練について	(1) 防災訓練をどのように計画・実施されているのか、職員、地域、市民に向けた取り組みについて伺う。また、これまで行ってきた訓練についての感想も伺う。 (2) 被災者支援計画と、それをスムーズに実施するための訓練について伺う。 (3) 被災された方が、一日も早く生活再建支援を受けられるよう、書類作成のプロである行政書士と災害時に協力していただけるよう提携を結ぶこと。市町村ごとに調査・判定方法に差異があるが、統一基準を設ける必要がある。調査のチェック項目が多く時間を要するので簡素化が必要。以上についての見解を伺う。				
2	児童虐待防止 に向けた取り組みについて	(1) 本年6月に児童福祉法等改正法が成立し、体罰禁止規定が明文化された。長年にわたるしつけという名の体罰の容認から、体罰の禁止が受け止めきれない場面もあるかもしれないが、市民に対してどのように周知・啓発をされるか伺う。 (2) 体罰の禁止と民法が親に認めた懲戒権との整合性が議論されているが、懲らしめるとか戒めるという文言を改めるべきだと考えるが、ご所見を伺う。 (3) 子どもの7人に1人が貧困とされ、地域でも孤立した家庭が多いことにも対応が必要と考える。貧困と孤立、地域との関わりと虐待防止についてご所見を伺う。 (4) 松江市の要保護児童対策地域協議会の状況を伺う。 (5) 子ども家庭総合支援拠点の取り組みについてお聞きするとともに、相談を受けるにあたり職員の研修が必要と考えるが現状を伺う。 (6) 子ども家庭総合支援拠点と児童福祉機関や医療機関、教育機関等他の機関との連携について伺う。 (7) DV問題を抱えている家庭における虐待の状況について、どのように把握されているのか伺う。 (8) 児童相談所の設置に関し、今あるものを活用することも一つの方法であり、そのうえで中核市として深く関わりを持ち、児相の体制強化を図ってほしいと考えるがご所見を伺う。				

一 般 質 問 通 告 事 項【9月11日（水）】

令和第3回松江市議会定例会

順序	17	議員名	米田ときこ	(個人質問) (一括方式)	質問日 (予定)	9月11日
質問項目	質問要旨					
1 認知症を予防できるまちづくりの推進	<p>(1) 第7期介護保険事業計画の認知症対策の強化における事業の進捗状況について伺う。</p> <p>(2) 認知症対策の強化における事業効果を、介護給付費の低減に繋げるためにはどのような評価指標を考えているのか伺う。</p> <p>(3) 介護予防・重度化防止事業の効果は、施策目標設定の目標値から判断すると、介護予防・生活支援サービス事業の充実となっているが、どの程度充実すると介護給付費が低減できると判断しているのか伺う。</p> <p>(4) 緩和型サービス・住民主体型サービスは計画通りの進捗か伺う。計画通りではない場合の要因と7期計画達成のために今後すべき事は何か伺う。住民主体型サービスの実施箇所数が増加しない問題、課題は何か伺う。</p> <p>(5) 認知症になっても住み良いまちづくりから認知症を予防できるまちづくりへのチャレンジについての考えを伺う。</p>					
2 介護保険事業計画における高齢者の住まいの確保は優先課題なのかの考え方について	<p>(1) 介護保険事業計画開始の平成12年から令和元年8月までに介護保険施設の入所定員はどの程度増えたのか伺う。(介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設、グループホーム、サービス付き高齢者住宅含む)</p> <p>(2) 同様に介護保険給付費総額及び、1人当たり給付費の平均月額についても伺う。併せて介護保険料についても伺う。</p> <p>(3) サービス付き高齢者住宅等の今後の高齢者の住まい確保については優先的課題なのか、今後の施設整備の方向性について伺う。必要な場合は、施設種別、定員数はどの程度か、あれば伺う。</p>					
3 松江市人財育成基本方針による目指す職員像について	<p>(1) 松江市人財育成基本方針改定に当たり、平成19年度の基本方針、平成26年推進計画の評価と課題について伺う。</p> <p>(2) 目指す職員像を達成するための評価指標アウトカムはどのように考えているか伺う。</p> <p>(3) 住民福祉の増進と安全安心なまちづくりを進めるために必要な職員像とは具体的に何か伺う。</p>					

順序	18	議員名	貴谷 麻以	(個人質問) (一括方式)	質問日 (予定)	9月11日
質問項目	質問要旨					
1 子どもたち、家族に対する安全な食と食糧自給率について	<p>(1) 安全な食が何よりも生きていくために必要である。各国で農業に対する問題が起こっている。高額請求もされているようだが、見解は。</p> <p>(2) 国が食糧自給率について言わなくなっているが、国と地域の食糧自給はどのように推移しているか。またどのような見解か。</p>					

一 般 質 問 通 告 事 項【9月11日（水）】

令和第3回松江市議会定例会

順序	18	議員名	貴谷 麻以	(個人質問) (一括方式)	質問日 (予定)	9月11日	
質問項目		質問要旨					
1	子どもたち、家族に対する安全な食と食糧自給率について	(3)	若者の農業参入が必要だ。いまある農地を単にアパートに変えても根本的な地域課題の解決にはならない。対策や考え方について問う。	(4)	安全な食の供給のために松江市はどのような対策を島根県とともにこなっていくのか。		
2	ホーランエンヤの決算と寄付の使い道、また今後について	(1)	前回議会でホーランエンヤの経済効果は高いと言われたが、五大地の運営費は少額で切り詰め、大変だったと聞く。決算の状況はいかがか。また寄付はどのように使われたのか。	(2)	報告はないが、今後もこのようなやりかたでするのか。	(3)	問題点の洗い出しはどのように行われるのか。
3	少子化における女性が住みやすい地域対策とは	(1)	若年層女性の流出が特に多いのがこの地域の特色である。女性が住みやすい、少子化に対応した地域とはどのように考えるか。	(2)	公園や地域から遊具がどんどんなくなっている。幼稚園からも対応されず壊れた遊具が放置されていると聞くが、若い家族への考慮についてどう思うか。	(3)	松江市はどのような方針で若い家族の定住について考えるか。
4	観光振興の情報について。潜戸周辺など、ジオパーク松江ビクターセンターやジオパーク振興、島根半島は	(1)	中海の水陸両用飛行機、潜戸の遊覧船、宍道湖の遊覧船や堀川遊覧船、また矢田の渡しの状況はいかがか。	(2)	どこでどのように何があって、どこに行けば乗れるか、運航しているかなど情報が入手できない。JRの駅や空港、町中に電光掲示板が必要だと思うがいかがか。	(3)	観光地同士の連携や情報の管理、ホテルや旅館などへの当日の情報が必要であるがいかがか。
		(4)	ジオパーク松江ビクターセンターなども存在がわかりにくい、どのように次の更新に向けて発展させるのか。	(5)	観光振興部との連携は。		
5	ごみ袋の今後の対応は	(1)	高齢社会におけるごみ袋の対応は。				
6	田和山遺跡の保存について	(1)	今後非常に重要になってくる田和山遺跡の保存について、どのように考えるか。				